

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導実践

場所：瑞穂町立瑞穂第一小学校

対象：第3年2組 29名

《平成29年度ふるさと教育推進委員会》
「みずほ学」型学習過程を通したふるさと学習の推進
～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～

1 単元名 「みずほっていいな」 ～だるま博士になろう～

2 単元の目標

代々、伝統を継承してきた「多摩だるま」に関心を持ち、「主体的・対話的で深い学び」の視点から「多摩だるま」について調べる学習と、協働・創造・思考・追究・表現するなどの問題解決的な力を育むとともに、ふるさと瑞穂の文化を大切に思う気持ちを育てる。

3 単元の評価規準

評価の観点	情報を選択活用する力	豊かに表現する力	他者や社会との関わりに関すること	共に高め合う力
単元の評価規準	①「多摩だるま」について興味をもったことや、知りたいことから課題を設定している。 ②学習の見通しを持ち、簡単な学習計画を立てている。 ③資料を調べることや、だるま屋の見学を通して必要な情報を集めている。 ④調べてわかったことをワークシートに記録している。	①調べたことや見学したことを、相手や目的に応じて自分の言葉でわかりやすくまとめている。 ②まとめた内容のメモを見ながら、発表することができる。 ③学習を振り返り、感想をもったり、学習を発展させようとしたりしている。	①学習を通して、「多摩だるま」作りについての理解を深めている。 ②だるま屋見学で質問する内容を考えている。 ③学習を通して、瑞穂町を大切に思う気持ちをもとうとしている。	①友達の調べ方やまとめ方を参考にして活動している。 ②自分・友達のよさや成長に気付くことができる。

4 単元について

(1) 教材について

瑞穂町では、約100年も前から、「多摩だるま」と呼ばれるだるまづくりが行われ、町内には今

も5軒のだるま職人が、その技術を伝承し続けている。だるまは瑞穂町の特産品の一つである。

「多摩だるま」は、その特徴や歴史、製造工程などを様々なテーマで調べることができる教材であった。また、「多摩だるま」について調べることを通して、瑞穂町を大切に思う気持ちをもたせたり、他の特産品（狭山茶、村山大島紬、シクラメン）を調べるなどの発展的な学習につなげたりすることができた。

(2) 単元構成について

本単元は、「単元を通した『みずほ学』型学習過程」（瑞穂町教育委員会）により計画した。単元の導入の段階では、それぞれの児童が「多摩だるま」について調べたい課題を見付けさせることができた。その中で、児童自らが、学習計画を立て、資料や聞き取り、「多摩だるま」の製造工程の見学を通して、課題を調べた。

学習過程の終末では、調べた内容をまとめて発表し合う活動（ポスターセッション）を行った。この学習活動を経験させることで、児童の問題解決的な力を育むことができた。

(3) 社会科・学習発表会との関連について

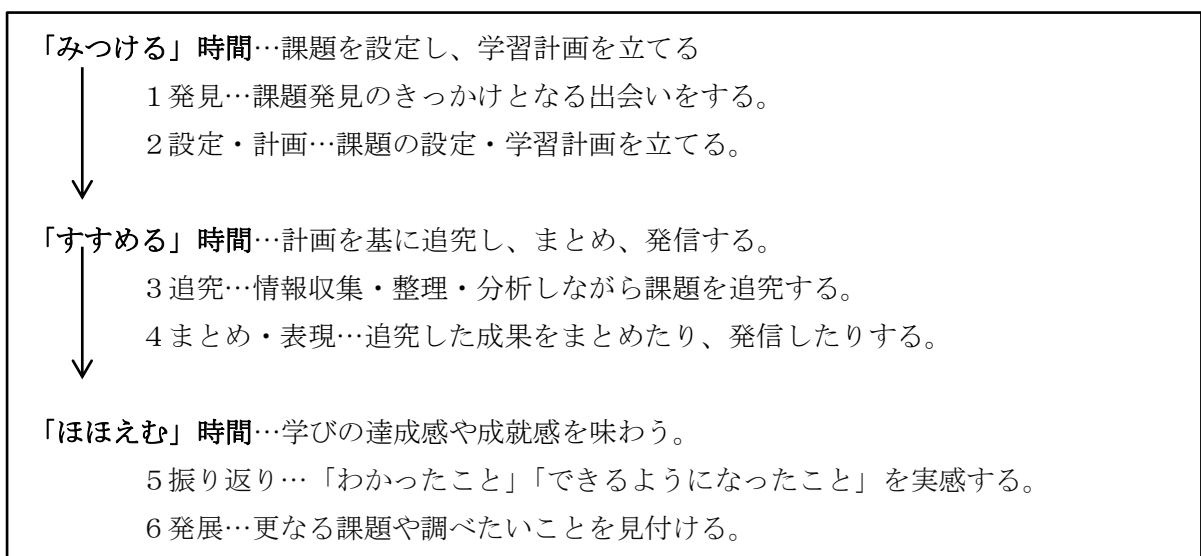
中学年の社会科には、地域の産業についての学習がある。地域の人々の生産活動の様子には特色があることや、地域には特色のある産業があることを理解する学習であった。

児童の中には、だるまの製造過程を調べたり、だるま屋の見学をしたりすることで、だるまを作る人たちの工夫や努力について気付くことができた。だるまの学習をきっかけにして、瑞穂町の他の産業に興味をもたせ、発展的な学習につなげた。本単元は、社会科との横断的な学習として捉えることができた。

また、本単元では、子供たちが課題を解決するにあたり、「学習発表会で瑞穂のよいところを伝える」という目的を設定し、「瑞穂の特色の1つである多摩だるまについて調べる」という目的意識や、学習発表会で伝えるという相手意識をもつことで、課題解決をより主体的なものにすることができた。

5 本単元の指導にあたって

「みずほ学」型学習過程による単元構成で問題解決の過程を子供たちに経験させる。



問題解決的な学習の過程による学習を経験させることで、子供たちの問題解決的な力を高める。

6 指導の工夫

(1) 発見：導入時における事象提示の工夫

単元の導入時において、子供が疑問や興味をもてるように実物のだるまや製造過程の写真を提示する。具体物を見せることで、児童が興味・関心をもてるようにした。そして、児童一人一人に自分の調べたい課題を設定させることで、学習への意欲を高め、主体的な学習となった。

(2) 設定：目的意識をもった課題設定

学習にあたって、なぜ多摩だるまについて調べるのかという目的意識をもたせた。本単元では、「学習発表会で瑞穂町のよいところを伝えるために多摩だるまを調べる」という目的を設定した。目的意識をもって課題設定させることで、課題を焦点化させ、調べ学習をより主体的なものになった。

(3) 計画：学習計画の作成

総合的な学習の時間は、第3学年から学習する。入門学年あることから、本単元では全員が同じ学習計画を立てる。その際、調べ方にはどのような方法があるのか、どのような手順で学習を進めるかを話し合った。そのことで、学習の見通しをもたせ、主体的に学習できるようになってきた。

また、学習計画の道筋を知ることで、高学年では、それぞれが自分に合った学習計画を立てられるようになることを目指した。

(4) 追究：相互の学び合いに基づく学習

本単元では、課題に対して、調べてまとめる作業は個人で行わせた。また、各過程において友達と考えを交流する場面を設けた。課題設定の場面では、友達と知りたいことや調べたいことを話し合わせた。課題を追究する場面では、必要に応じて、同じような課題の友達と一緒に調べ学習を行わせるなどを行った。友達と交流する場面を設けることで、相互に学び合って考えを深めさせることができた。

(5) まとめ・表現：国語科の学習を生かした発表

本単元と同時期に、国語「つたえよう、楽しい学校生活」では、発表メモを作り、相手の顔を見ながら発表する学習をした。本単元では、発表をポスターセッションで行う。発表に向けての準備では、国語科での学習を想起させ、発表をより高まりのあるものにすることができた。

(6) ほほえむ時間：視点をもった振り返り

学習してきたことを「分かったこと」と「できるようになったこと」の2つの視点で振り返らせることができた。「分かったこと」では、多摩だるまについて調べてわかった知識などを振り返ることができた。「できるようになったこと」では、「図鑑で調べられた」、「メモを見て発表できた」などの問題解決に必要な技能的なことを振り返らせ、ふるさと「瑞穂」の新しい発見や学習したことを振り返ることができた。更に、自分の成長を実感させ、学びの達成感や成就感を味わうこともできた。

7 学習計画（全17時間）

学習過程	学習活動 C：児童の反応	・教師の支援、留意点○評価	
「みつける」時間	<p>発見・設定 1時目</p>	<p>瑞穂町のよいところについて話し合う。 (特産品) ・多摩だるま・シクラメン・狭山茶 (場所) ・六道山・狭山池・スカイホール・円福寺 (行事) ・夏まつり・だるま市・産業まつり など C：今まで見に行ったところのことを紹介します。 C：多摩だるまは箱根ヶ崎駅にありました。</p>	<p>・学習発表会で「瑞穂町のよいところを発表する」という目的を伝える。 ・事前に保護者に瑞穂町のよいところをインタビューさせる。 ・今回は多摩だるまについて調べていくことを伝える。 ○他者や社会との関わりに関すること①</p>
	<p>2時目 (本時)</p>	<p>多摩だるまについて話し合い、調べたいことを考える。 ・多摩だるまについて興味をもったことや、知っていることを話し合う。 ・だるまについて知りたいことや調べたいことをグループで発表し合う。 C：多摩だるまはいつできたのですか。(歴史) C：なぜ特徴的な形なのですか。(特徴) C：多摩だるまの中でもどのような違いがあるのですか。(比較) C：多摩だるまはどうやって作るのでしょうか。(製造工程) ・自分で考えた課題を振り返る。</p>	<p>・子供たちが多摩だるまに対して興味をもてるように発問をしながら話し合わせる。 ・多摩だるまに対する疑問や調べたいことを共有する。 ○情報を選択活用する力①</p>

	<p>計画 3時目</p>	<p>学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の多摩だるまについて考えたことを思い出し、課題を確認する。 C：どうしたら多摩だるまを調べられますか。 C：なぜ、違うだるまを作るのですか。 多摩だるまについて調べるためには、どのような方法があるのかを話し合う。 C：だるまを作っている人に聞いてみます。 C：だるまが家にあるような気がします。 単元全体の学習の流れを知り、見通しをもって学習計画を立てる。 C：詳しい人に聞けるなら、調べられそうです。 C：インターネットだけだと、十分ではないかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時で共有した意見を参考にさせる。 1学期の学習で、図鑑や事典を使ったことを想起させる。 調べ方やまとめ方、発表の仕方について知らせる。 学習計画を立てて見通しをもたせる。 <p>○情報を選択活用する力②</p>
<p>「すすめる」時間・「ほほえむ」時間</p>	<p>追究 4～7時目</p> <p>8・9時目</p>	<p>課題について資料を使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料や本、インターネットを使って、各自の課題について調べる。 C：調べる資料が多いけど、同じことが書いてあります。 共通する課題について、友達と情報交換する。 C：友達も同じことを調べているですね。情報がほしいです。 <p>多摩だるま屋を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学して気付いたことをメモする。 C：自分で調べたことと違うことが聞きました。 多摩だるま作りについてインタビューする。 C：自分が聞こうと思ったことが、しっかりと聞いてよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館と連携し、だるまに関する資料を取り寄せる。また、ゲストスピーカーに調べ学習の支援をしてもらう。 <p>○豊かに表現する力① ○共に高め合う力①</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前に質問したい内容を考えさせておく。 <p>○情報を選択活用する力③ ○他者や社会との関わりに関すること②</p>
	<p>まとめ 10・11時目</p>	<p>学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べたことや見学して分かったことをワークシートにまとめる。 C：調べたことと見学して聞いたことで、自分の言葉で発表します。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表を意識させ、自分の言葉でわかりやすくまとめるようにさせる。 <p>○情報を選択活用する力④</p>

<p>表現 12～14 時目</p>	<p>発表の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べて分かったことをポスターセッションで発表するための原稿を書いたり、提示する絵をかいたりする。 <p>C：今まで書いてきたワークシートを使って、発表の準備をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表の練習をする。 <p>C：一度練習したけど、話す言葉が難しいから直してみます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国語で発表したときのことを想起させる。 発表のしかたや聞き方について確認する。 相手意識をもたせる。 <p>○豊かに表現する力②</p>
<p>15・16 時目</p>	<p>発表する。(個人発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表を受けて感想を伝え合う。 <p>C：今まで自分が調べてきたけど、友達は違うことに気が付いていたんですね。すごいいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表すること、感想を伝えることの時間を十分に確保する。 <p>○豊かに表現する力③</p>
<p>振り返り 17時目</p>	<p>多摩だるまの学習を通して、瑞穂町のよいところを更に調べていくことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を振り返る。 <p>C：多摩だるまの学習で、瑞穂町には昔から伝わるよい雰囲気があるんですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 瑞穂町のよいところについて他に調べたいことを話し合う。 <p>C：多摩だるま以外にも調べたいことがあります。みんなはどんなことを調べたいのか興味があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1時を想起させ、他の瑞穂町のよいところを調べていくことを伝える。 <p>○他者や社会との関わりに関すること③</p> <p>○共に高め合う力②</p>

8 本時の学習 (2 / 17時)

① ねらい

「多摩だるま」について知っていることを話し合い、自分の知りたいことや調べたいことを考えることができる。(情報を選択活用する力①)

② 展開

段階	学習活動・予想される児童の反応	・教師の支援、留意点 ☆評価 (方法)
つ か む 1 5 分	<p>1 前時を振り返る。 「前の時間は瑞穂町の色々なことを話し合いました。今日は、その中で多摩だるまのことを学習します。」</p> <p>2 だるまについて知っていることを話し合う。 ・お祭りで売っていました。 ・特徴的な形ですね。 ・家に飾ってあります。</p> <p>3 実物のだるまや写真を見て気付いたことを話し合う。 ・顔にひげがあります。ひげの形が何か動物に似ていますね。 ・色々な種類のだるまがありますね。色が違うものがあります。目の部分も違いますね。</p> <p>4 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「多摩だるま」について知りたいことや調べたいことを考えましょう。</p> </div>	<p>・本時の学習課題に繋がる発問を行う。</p> <p>・だるまについての興味を広げるために、だるまの製造工程や様々な地域のだるまの写真を提示する。</p>
ひ ろ げ る 2 5 分	<p>5 「多摩だるま」について知りたいことや調べたいことを考える。 ・多摩だるまはいつできたのだろうか。(歴史) ・なぜ特徴的な形なのだろうか。(特徴) ・他の地域のだるまにはどのようなものがあるのだろうか。同じ多摩だるまでも違いがあるのはなぜなのだろうか。(比較) ・多摩だるまはどうやって作っているのだろうか。(製造工程)</p> <p>6 グループで考えたことを紹介し合う。 ・自分では歴史のことを調べようと思いましたが、違いを考えていく方が色々なことが分かりそうですね。 ・多摩だるまの作り方を調べたいのですが、どうやって</p>	<p>・疑問に思うことや不思議に思うことも挙げさせることで、調べる内容をより充実させる。</p> <p>・友達の見解を受けて、付け加えや修正などをしてもいいことを伝える。 ・友達の見解を聞いて、自分の考</p>

	<p>調べたらいいのか。友達はインターネットで調べると言っているけど他の方法はないのでしょうか。</p> <p>7 教室を歩き、友達のワークシートを見て交流し、様々な考えを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループ以外でも、同じことを考えている友達がいるのですね。 ・グループでは出なかったけど、ここに書かれている目の特徴は調べるとおもしろそうですね。 <p>8 自分の考えた課題を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表や友達のワークシートを見た中で、自分で調べたいと思ったことを進めていきたいと考えました。 ・自分が調べたいと思ったことを友達も調べたいと思っていたのですね。一緒に調べてみようと思います。 	<p>えを広げられるように話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べてみたいと思った課題にはふせんを貼らせる。 <ul style="list-style-type: none"> →自分と類似した課題や付け加えたい課題 黄 →自分とは違い、課題にしてみたいと思った課題 緑 ・課題に調べてみたい順に3つ番号を付けさせる。 <p>☆ 自分の調べたいことや知りたいことを考えている。(ワークシート)</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>9 次の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーに調べることを質問することができるんですね。どんな内容を聞いてみようか考えてみます。 ・1学期の総合の時間にも計画を立てたことがありました。今回もがんばってみようと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は、調べ学習の協力をしてくださるゲストスピーカーを子供たちに紹介する。 ・次時では、学習計画を立てていくことを伝える。